

アルバイト給与シミュレーター

金谷 健人

開発した理由

残業代も含めた、アルバイトの1ヶ月分の給与がどれくらいになるか計算したかったため。

アプリのアイコン



アプリの使い方

①時給を入力する。(5桁まで入力可)

②勤務時間を選択する。

③勤務回数を選択する。

④スイッチを押下すると、②③と同様のドロップダウンボタンが表示される。

⑤スイッチを押下すると、②③と同様のドロップダウンボタンが表示される。

⑥スイッチを押下すると、15分刻みの前残業時間が表示され、その回数を選択するドロップダウンボタンも表示される。

⑦後残業時間を入力する。(5桁まで入力可)

⑧有給回数を選択する。

10:20

アルバイト給与シミュレーター

\$ 時給 ①

勤務時間
勤務時間を選択してください。 ②

勤務回数
勤務回数を選択してください。 ③

+ 2つ目の時間帯を追加 ④

+ 3つ目の時間帯を追加 ⑤

+ 契約時刻前勤務 ⑥

🕒 後残業時間 (分) ⑦

有給回数
有給回数を選択してください。 ⑧

アプリの使い方

⑨「リセット」ボタンを押下すると、テキストボックスに入力されている値はクリアされ、ドロップダウンボタンで選択されている値は初期値に戻る。

⑩「計算する」ボタンを押下すると、シミュレーション結果画面に遷移する。

10:20

アルバイト給与シミュレーター

勤務時間 —
勤務時間を選択してください。

勤務回数 —
勤務回数を選択してください。

+ 2つ目の時間帯を追加

+ 3つ目の時間帯を追加

+ 契約時刻前勤務

🕒 後残業時間 (分)

有給回数 —
有給回数を選択してください。

リセット ⑨

計算する ⑩

アプリの使い方

- ・時給と後残業時間が未入力だと、エラーメッセージが表示される。
- ・ドロップダウンボタンが未選択だと、エラーメッセージが表示される。
- ・エラーがある場合は、シミュレーション結果画面に遷移することができない。

12:13

アルバイト給与シミュレーター

\$ 時給

時給が入力されていません。

勤務時間

勤務時間を選択してください。

勤務時間が選択されていません。

勤務回数

勤務回数を選択してください。

勤務回数が選択されていません。

+ 2つ目の時間帯を追加

+ 3つ目の時間帯を追加

+ 契約時刻前勤務

🕒 後残業時間（分）

後残業時間が入力されていません。

アプリの使い方

ローディング画面



アプリの使い方

シミュレーション結果画面

例)

時給:950円

勤務時間:4時間30分 15回

勤務時間2:2時間30分 5回

前残業時間:15分 15回

後残業時間:100分

有給回数:1回

「戻る」ボタンを押下すると、入力画面へ遷移する。

A screenshot of a mobile application interface. At the top, a green header bar contains a back arrow icon and the text 'シミュレーション結果'. Below the header is a table with two columns: '項目' (Item) and '金額' (Amount). The table has six rows of data. At the bottom of the screen, there is a green button with the text '戻る' (Back). The status bar at the very top shows the time 12:27 and various icons.

項目	金額
支給額	76,000円
前残業代	3,563円
後残業代	1,584円
有給代	4,275円
総支給額	85,422円

感想

- ・初めてDartに触れたため、自分が思い描くアプリを実装できるか不安だったが、100%実装することができたため嬉しかった。
- ・自分にとって必要な情報を得ることの大切さを改めて学んだ。
- ・給与明細と照らし合わせてみたら4月分は誤差0円、5月分は誤差-3円、6月分は誤差+1円であったためほぼ正確といえるだろう。小数の切り上げ・切り捨てで若干の誤差があるようだ。
- ・部品のデザインが非常に気に入ったため、Android Studioで開発するよりもflutterの方が良いかもしれないと思った。